

一般社団法人日本報連相センター  
2019年第1回社労士塾

## 働き方改革と真・報連相 質の高い仕事の進め方とは？

2019年2月10日  
NHC-319 天野 勉

1

## ワークライフバランス(WLB)とは・・

国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて**多様な生き方が選択・実現できること**(2007年12月ワークライフバランス憲章)

バランスという単語の語感で  
「仕事:プライベート=50:50」が理想  
と勘違いされがち・・・



ひと言でWLBといっても、その意味は曖昧・・・  
「ワーク」「ライフ」の使用範囲が人によって異なる

2

## 一人ひとりが主体的に生きていくこと



ワークライフバランスは  
寄せ鍋

ワークライフバランスとは、「**自分が大切だと思ふ**」ことに  
エネルギー(時間、気力など)を投入できること  
「**働き方改革=残業削減**」は誤解！

3

## 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律

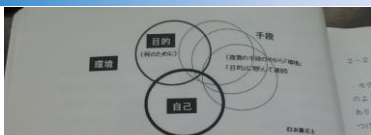
### 第2条2項(基本原則)

女性の職業生活における活躍の推進は、職業生活を営む女性が結婚、妊娠、出産、育児、介護その他の家庭生活に関する事由によりやむを得ず退職することが多いことその他の家庭生活に関する事由が職業生活に与える影響を踏まえ、**家族を構成する男女が、男女の別を問わず、相互の協力と社会の支援の下に、育児、介護その他の家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たしつつ職業生活における活動を行うために必要な環境の整備等により、男女の職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立**が可能となることを旨として、行われなければならない。

**働き方改革は、生き方改革  
仕事も生活も質の向上が求められる**

4

## つまり、大切なのは「自己」という視点



### ◎ポイントは「自己」

ライフプランを考へるうえで、最も重要なのは「自分が主人公になること」です。自分を取り巻く環境が難しい状況にあっても、自分ができるようにとらえるかで変わります。先ほどみた「3つの視点」においても「自己」が入っていることがポイントです。

もちろん、他人の意見をまったく聴かないとか、確認やインターネットの情報ですべて無視するというではありません。情報収集や相談はたくさんしてください。ただ、最後に決めるのは自分であり、決断の決め手になるのは「自分がどのように生きていきたいのか」です。モデルケースなどに振り回れず、自分が主人公となる人生を生きていきましょう。

5

## いきているうちにやりたいこと ベスト10

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

6

## 「ライフ」分野での3つの視点

- ・子育て世代向けライフプラン講座  
(従業員向けキャリアデザイン研修でも)
- ・MBAよりPTA  
「男性管理職よ、PTAで学べ！」
- ・夫婦コミュニケーション講座  
「男女では、コミュニケーションの目的が違う！」  
(※講座タイトルゆえ、「極端」な表現になっています)

7

## 実際のコンサルの場でおこなっていること(序盤)

- ①経営者との対談(相談) (自己(相手)の視点)  
会社をどうしたいのか、覚悟はあるか、不安に感じていること
  - ②管理職研修/ライフプラン研修  
経営上のメリット、イクボスの視点、管理職のライフプラン講座  
働き方改革の目指す先にあるものはなにか
  - ③カエル会議(付箋会議)  
自分の考えを発する機会をつくる  
「自分のため」という意識の醸成にもつなげる
  - ④現場ヒアリング(どうしたいねん、どうなりたいねん)  
現場の不満、ひそかに考えている改善提案、  
プライベートも含めた今後のビジョンなど、ナマの声を聴きます
- 「やり方」も重要であり、活動の成否を分けることになるが、  
「なぜやるか」という目的・マインドの部分が最重要

8

## 生産性を高めるために

$$\text{生産性} = \frac{\text{得られた成果}}{\text{投入した資源}} \Rightarrow \begin{array}{l} \text{成果を上げる} \\ \text{投入資源を減らす} \end{array}$$

通常、『投入資源を減らすための改善』に注力  
→これが「時短ハラスメント」に・・・

今後、組織が生き残るためには成果を上げる  
「質の高い仕事の進め方」が不可欠となる

9

## 質の高い仕事の進め方とは

仕事を進めるうえで不可欠である情報の共有化  
「報連相」の目的は、情報の共有化  
→報連相は**仕事の進め方**、そのものといえる

$$\begin{array}{l} \text{質の高い} \\ \text{成果をあげる人} \end{array} = \left( \begin{array}{l} \text{質の高い} \\ \text{専門性} \end{array} \right) \times \left( \begin{array}{l} \text{質の高い} \\ \text{仕事の進め方} \end{array} \right)$$

↓  
真・報連相による  
情報の共有化

報連相はパソコンのOSのようなもの

10

## レベル表の社内展開事例

目的は「社内の行動ベース」で共有すること  
→べき論ではなく、「こうあろう」という姿を共有

例)報告3度「中間報連相」の大切さを・・・

- ・中間報告に関する社内の事例などを共有
- ・中間報告の目的は？ 何のためにする??
- ・「中間」っていつ?という質問の投げかけ
- ・「中間報告」は聞くけど、中間相談??
- ・1つ上の「仕事の終了のメドがついた・・・」との関連は?

10~15分程度、上記のようなことを話し合い、それらを踏まえ「やること」「やめること」などを3項目程度決める

11



天野社会保険労務士事務所

所在地:高槻市東天川1-35-1

電話 : 090-8487-3654

メール : info@amano-sr.com

HP : http://amano-sr.com

12